

プログラム

● ご挨拶

● 戦時体験語り

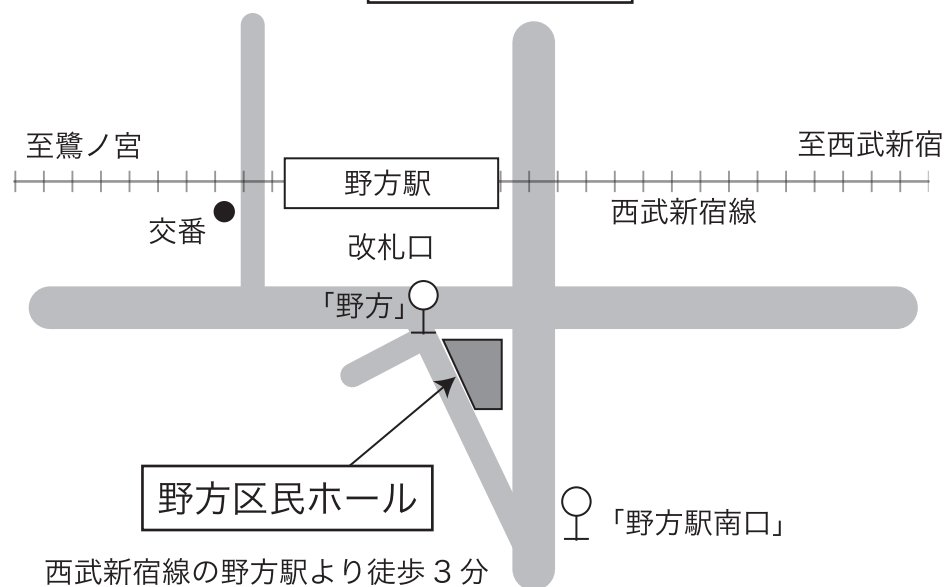
語り部 伊藤 政雄氏 他3名予定

● 手話劇

「^{うつわ}手の器よ、花ひらく～アリランの蛭」

庄崎 隆志氏 他2名

会場案内



〒165-0027 東京都中野区野方 5-3-1

「^{うつわ}手の器よ、花ひらく～アリランの蛭」 あらすじ

太平洋戦争末期の昭和二十年初夏。聾を愛する京坂聾啞学校教師の特攻隊員が聾少女の実家の食堂に駆けつけ、今生の別れにライスカレーを食べた。

「私は京坂聾啞学校教師、日本名、寺田剛士、もう一人が 朝鮮人の慮剛士です。隠して本当に申し訳ありません。僕たちは、明日沖繩へ向かって飛びます。死ぬ前に一度だけ、思いっきり手話歌を歌わせてください…。」

そして沖繩の空に出撃していった。心の目で観る感動のドラマをお届けします。戦争犠牲者への鎮魂と平和をこめて――

「月光の夏」「いま特攻隊の死を考える」の一部より。